

奥沢小学校・東玉川小学校「福祉体験学習」

10月14日に奥沢小学校4年生、10月26日に東玉川小学校4年生を対象に福祉体験学習を行いました。車椅子利用者や視覚障がい者の方へのサポートや心配りなどについて学習してもらいました。

児童の皆さんは、たくさん準備をして今回の福祉学習に臨んでくれたそうです。地域で困っている人を見たら、どう行動したらよいか、活発に意見を述べてくれました。

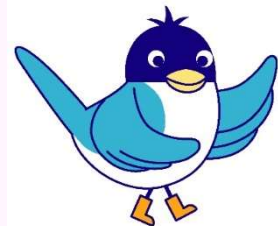


【学習を終えた子ども達の感想】

- 「困っている人がいたら、頑張って話しかけてみる」
 - 「自分たちの周りに、障害のある人への工夫がいろいろあることがわかった」
 - 「車椅子は正しく使わないと、事故につながったりすることがわかった」
 - 「点字ブロックの上に、自転車を置かないよう気を付けたい」
 - 「点字をもっと覚えるため、クリスマスプレゼントに点字器をもらえるようお願いする」など、子ども達からの率直な意見が聞けました。
- 身体の不自由な人への思いやりをつかんでくれたと感じられる福祉体験学習でした。



～推進員研修実施しました～ ★本年度の座学研修、テーマは「ヤングケアラーについて」★



令和5年度の推進員座学研修は「ヤングケアラー」をテーマとして8月30日に開催しました。近年、社会的に関心が高まって来て、その実態が少しずつ明らかになって来ているとはいえ、詳しく知らないという方も多いと思われます。



ヤングケアラーとは何か？なぜ問題なのか？等について奥沢あんしんすこやかセンター管理者の篠崎広一様よりお話を伺いました。難しいテーマでしたが、出席の皆様もグループワークで一緒に考えたり学んだりした有意義な研修会でした。

奥沢のおまつりイベント

奥沢地区祭礼が4年ぶりに従来規模で9月9日(土)、10日(日)に催され、神輿や露店が出て、多くの人出で町中が賑わっていました。奥沢地区社協では、祭礼初日の9月9日(土)に奥沢駅前噴水広場でテントを設置して、PR活動とかき氷販売を行ないました。



PRテントでは、社会福祉協議会の事業活動紹介パンフレットをお配りしたり、募金活動などを行ないました。併せて民生児童委員やゴミ減量リサイクル推進委員会、あんしんすこやかセンター、明るい選挙推進委員の方も、それぞれの活動のPRを行ないました。今年祭礼初日の1日だけのPR活動でしたが、地域の方々に少しでも私たちの活動を知ってもらいたいという気持ちで取り組みました。なお、寄付いただいた金額は、19,321円でした。ご協力いただきました皆様に感謝いたします。



連日暑さが続くなか、当日の朝は涼しく感じる日よりでしたが、評判のふわふわのかき氷を美味しく食べている親子連れなどで駅前噴水広場は、たいへん賑わっていました。なかには何回もおかわりで買ってきてくださる方もいて、売上総数417杯となり、多くの方に召し上がっていただくことができました。なお売上は、奥沢地区社協の今後の事業に活用させていただきます。

劇団新風公演を行ないました！



昨年度も好評いただいた世田谷パブリックシアター×玉川地域社協事務所共催企画「劇団新風公演」を奥沢地区まちづくりセンターで行ないました。誰もが地域で安心して暮らせる仕組みを地域住民の方に知っていただくため、社協の事業をわかりやすく伝えられるよう、世田谷パブリックシアターにご協力いただき、大学生ボランティアがいちから考え、演劇を作りました。社協の事業である「あんしん事業」、「私のノート」、「ふれあい・いきいきサロン」について紹介しました。昨年度から参加した学生も多く、よりわかりやすくするには！？と演劇の内容は新たに作られました。参加者からは「勉強になった」「分かりやすかった」という声の他、学生との交流をする時間もあり「明るい笑顔で元気をもらった」「久しぶりに声を出して笑いました」という声もあり、楽しい時間になりました。

